

# I 調査の概要



## 1. 調査目的

子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 61 条に基づく新制度の開始を控え、子ども・子育てに関する実態とニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とすることを目的として就学前児童及び就学後児童の保護者を対象に調査を行った。

## 2. 調査項目

就学前児童
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 世帯及び子どもの基本属性</li><li>2. 今後の出産意向</li><li>3. 子どもの育ちをめぐる環境について</li><li>4. 保護者の就労状況と就労意向</li><li>5. 平日の教育・保育サービスの利用状況</li><li>6. 子どもが病気やけがで教育・保育サービスが利用できなかった場合の対応</li><li>7. 平日の教育・保育サービスの利用希望</li><li>8. 土曜日・休日、長期休暇中の幼稚園や保育所の利用希望</li><li>9. 育児休業取得状況</li><li>10. 仕事と子育ての両立の状況</li><li>11. 就学後に希望する放課後の過ごし方</li><li>12. 不定期の教育・保育事業の利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用状況</li><li>13. 子育て支援サービスの利用状況、利用希望</li><li>14. 市役所への要望</li><li>15. 子どもの生活習慣</li><li>16. 子育てを支援する生活環境の整備、子どもの安全確保について</li><li>17. 子育てについての意見</li></ol>
就学後児童
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 世帯及び子どもの基本属性</li><li>2. 子どもの育ちをめぐる環境について</li><li>3. 保護者の就労状況と就労意向</li><li>4. 平日のもりぐち児童クラブ入会児童室の利用状況</li><li>5. 子どもが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合の対応</li><li>6. 仕事と子育ての両立の状況</li><li>7. 市役所への要望</li><li>8. 子どもの生活習慣</li><li>9. 放課後や休日の過ごし方</li><li>10. 地域での自然体験、社会・文化活動などへの参加</li><li>11. 子育てを支援する生活環境の整備、子どもの安全確保について</li><li>12. 子育てについての意見</li></ol>

### 3. 調査設計

#### (1) 調査対象

種類	調査対象	
就学前児童調査	守口市在住で就学前児童の保護者 (①+②+③)	
	① 守口市在住で市内の幼稚園に通う児童の保護者	4,387人
	② 守口市在住で市内の保育所に通う児童の保護者	1,229人
	③ 守口市在住で①②以外の就学前児童の保護者	1,948人
就学後児童調査	守口市在住で就学後児童の保護者	
		1,210人
		1,000人

#### (2) 調査期間

種類	調査期間
就学前児童調査	平成26年1月10日(金)～平成26年1月22日(水)
就学後児童調査	

#### (3) 調査方法

種類	調査方法	
就学前児童調査	① 守口市在住で市内の幼稚園に通う児童の保護者	直接配布・ 直接回収
	② 守口市在住で市内の保育所に通う児童の保護者	
	③ 守口市在住で①②以外の就学前児童の保護者	郵送配布・ 郵送回収
就学後児童調査	郵送配布・ 郵送回収	

### 4. 回収結果

種類	配布数	回収数	回収状況		回収率	有効回収数	有効回収率
			うち無効票	うち締切後着			
就学前児童調査	4,387件	2,824件	4件	3件	64.4%	2,817件	64.2%
① 幼稚園に通う児童の保護者	1,229件	1,021件	1件	0件	83.1%	1,020件	83.0%
② 保育所に通う児童の保護者	1,948件	1,329件	3件	1件	68.2%	1,325件	68.0%
③ ①②以外の就学前児童の保護者	1,210件	474件	0件	2件	39.2%	472件	39.0%
就学後児童調査	1,000件	394件	0件	4件	39.4%	390件	39.0%
合計	5,387件	3,218件	4件	7件	59.7%	3,207件	59.5%

## 5. 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を上回る場合がある。  
なお、本文中、表やグラフに次のような表示がある場合、複数回答を依頼した質問である。
  - ・MA%(Multiple Answer)＝回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・3LA%(3Limited Answer)＝回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、図表には「0.0」と表記している場合がある。
- 回答者数（n）が少ない場合は、比率の数字に偏りが生じやすく、厳密な比較をすることは難しいので、おおよその回答の傾向をみることになる。
- グラフにおいて、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- その他を回答している割合が1割以上の場合においては、調査結果の巻末にその他の記載内容を掲載している。

